

2013年度 公開講演会

南山大学人類学博物館リニューアル記念シンポジウム

『未来へ向かう博物館』

2013年10月、南山大学人類学博物館がリニューアルオープンします。これを記念して、これからの博物館について考えるシンポジウムを開催します。

■ シンポジウム開催主旨

南山大学人類学博物館のリニューアルにあたり、これを契機として「博物館」というものを改めて問い直すことが必要であるように感じられます。そこで、本シンポジウムでは、『未来へ向かう博物館』と題して、21世紀から22世紀へ向かう博物館の方向性について考えたいと思います。

■ 公開講演会当日の10月5日から人類学博物館を一般開放(無料、10:00~16:30)します。シンポジウムと合わせて、新しくなった博物館も自由にご覧いただくことができます。

■ シンポジウムプログラム

13:00 開会

13:05~14:00 基調講演 「博物館の過去・現在・未来」 明治大学文学部教授 矢島 國雄 氏
—博物館の歴史を踏まえた創造的な「博物館の未来像」について—

14:10~15:10 報告1 「大学博物館／ユニバーサル・ミュージアム」 南山大学教授 黒沢 浩 氏
—「ユニバーサル・ミュージアム」をキーワードに、新しい人類学博物館のコンセプトについて—

報告2 「地域がつながる、大学美術館がつながる」 九州産業大学美術館教授 緒方 泉 氏
—大学美術館と地域社会との連携について(九州産業大学での実践例をもとに)—

15:10~16:00 総括 「大学博物館が開く未来の博物館」 京都大学総合博物館館長 大野 照文 氏
—博物館での研究活動がどのように教育実践に結びつくべきか(京都大学での実践例をもとに)—

16:15~17:30 討議 「知の実践／実験の場としての博物館」
—「博物館」は、知を実践し実験する場としてどのような存在であるべきか—

司会・進行 黒沢 浩 氏

パネリスト 緒方 泉 氏、大野照文 氏、吉田英一 氏(名古屋大学博物館館長)、
和崎春日 氏(中部大学民族資料博物館館長)

■ 申し込み方法

ハガキ、FAX、メールにて、氏名・住所・電話番号・メールアドレスを明記して、南山大学 南山エクステンション・カレッジ「公開講演会」係あてに申し込んでください。入場整理券をお送りします(席に余裕がある場合、当日受付可)。

* 南山大学在学学生の場合は、学生番号を必ず記載してください。

主催 南山大学 南山エクステンション・カレッジ

共催 名古屋市生涯学習推進センター

